



＜補足説明資料＞

蓄電ソリューション事業における 今後の保有・販売計画と投資規模について

株式会社リミックスポイント

2026年8月27日 | 証券コード：3825

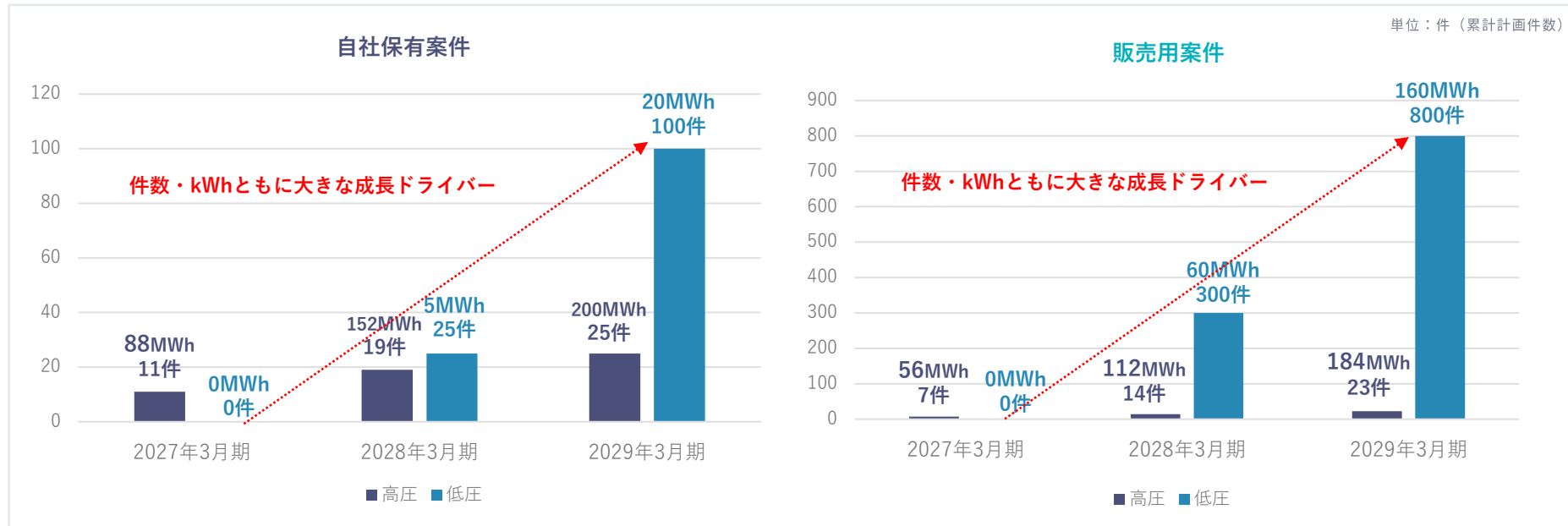
蓄電ソリューション事業 全体像 | 自社保有 × 販売用の両輪成長

自社保有でストック収益資産を積み上げつつ、販売用案件で売上成長を加速させる両輪の事業モデル。

GROWTH PLAN | 成長加速に向けた事業資金を投入

総額 **300億円超** を投入、**～2029年** で申請件数 **5,000件超** を計画

自社・販売の4区分で見る累計件数計画（3年間）



自社保有案件 | 低圧・高圧 系統用蓄電所

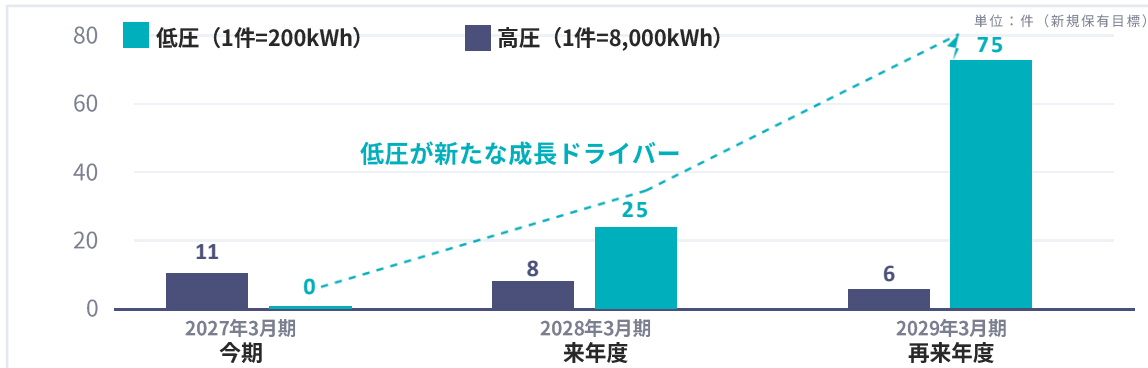
高圧系統用蓄電所に加え低圧系統用蓄電所が立ち上がる局面。ストック収益資産の裾野を広げる、当社の中核投資計画。

INVESTMENT | 総投資計画

総額 **100億円超** を、低圧系統用蓄電所に投資見込み（長期投資）

1,000件超の申請案件を背景に、
低圧系統用蓄電所への**総額100億円**規模の投資枠を設定。

01 新規保有目標（件数/kWh）



02 数値サマリー（kWh／投資額／想定IRR）

項目	今期（2027年3月期）	来年度（2028年3月期）	再来年度（2029年3月期）
■ 低圧 合計MWh	0MWh	5MWh	15MWh
■ 高圧 合計MWh	88MWh	64MWh	48MWh
投資額	66.0億円	50.5億円	43.5億円

低圧 | 1件あたり投資額 約1,000万円～ 想定IRR **約24%※** | 高圧 | 1件あたり投資額 約6億円 想定IRR **約20%※**

※ 想定IRRは、初期投資額、年度別想定キャッシュ・フロー、残存価値等に基づく試算値です。

© Remixpoint, inc.

01

自社保有は、将来のストック収益資産の積み上げ

保有した蓄電所は継続的な市場運用収益を生み出す「ストック資産」。件数を積み上げるほど、翌期以降の売上粗利のベースが厚くなっていく。

02 | ポートフォリオ拡張

高圧に加え低圧を立ち上げ、拡大余地が大きく広がる

低圧を新規に立ち上げ再来年度中には**累計100件**へ。
自社開発により安価且つスピーディーに件数を伸ばせる低圧が加わり、保有ポートフォリオの拡張軸が二本立てになる。

03

今後、5,000件超の申請予定

総額100億円超は、1件1,000万円～ × 1,000件超の申請対応にかかる投資枠。単なる構想ではなく、既に足元にある案件母数を伴う実行フェーズ。

販売用案件 | 低圧・高圧 系統用蓄電所

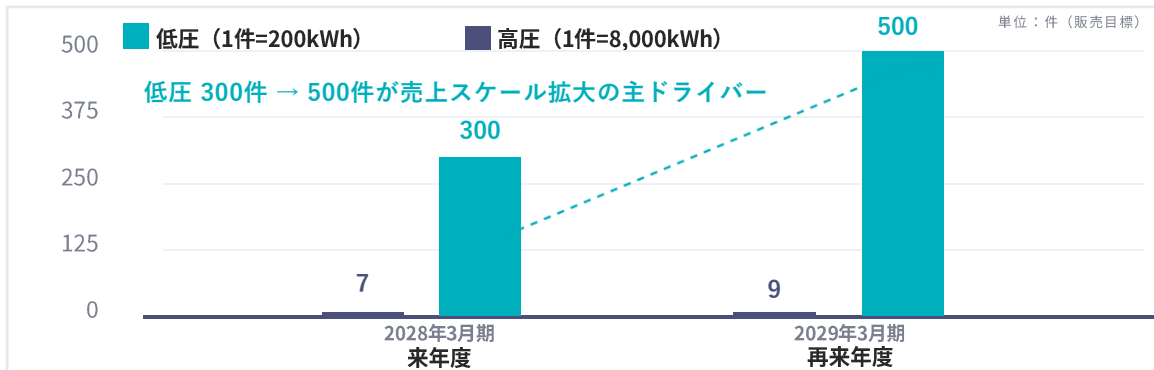
案件母数の大きさを、そのまま売上・粗利成長に転換するフェーズ。低圧系統用蓄電所のスケールが、成長の主ドライバーとなる。

SALES | 販売案件の全体像

2年で低圧 **100億円超/800件超**・高圧 **100億円/16件** を販売見込み（短期事業資金投入）

合計売上2年で200億円規模。
件数の厚みが、そのまま売上・粗利の成長を牽引。

01 販売目標（件数/ kWh）



02 数値サマリー（kWh/売上/粗利）

項目	来年度（2028年3月期）	再来年度（2029年3月期）	2年合計
■ 低圧 合計MWh	60MWh	100MWh	160MWh
■ 高圧 合計MWh	56MWh	72MWh	128MWh
売上高	81 億円	119 億円	200億円

低圧 | 投資 想定利回り **約16.1%**

高圧 | 投資 想定利回り **約19.9%**

01 | 成長ドライバー

低圧 300→500件 が売上スケール拡大の主ドライバー
光通信の販路と営業力により販売力が強化。
低圧の販売件数拡大が、来年度81億円 → 再来年度119億円の売上成長を牽引する。粗利率約20%を維持しながら、販売規模の拡大を目指す。

02 | ポートフォリオの厚み

**高圧と低圧の組合せで、
販売ポートフォリオの厚みが増す**

1件8,000kWhの高圧と、数を伸ばせる低圧を組み合わせ、単価×数量の両輪で販売収益を積み構造に。案件規模と件数の分散で事業の安定性も高まる。

03 | 自社保有との両輪

**販売用で成長、自社保有でストック。
2軸で企業価値を高める**

販売用が売上・粗利の成長スピードを、自社保有が翌期以降のストック収益を担う。1,000件超の申請母数を、両輪の事業モデルとしてフル活用する。

